

指定講演①

9月5日（土）

A会場 14:05～15:05

『糖尿病の増悪因子としての歯周病』

座長：井上 達秀（静岡県立総合病院 院長）

演者：西村 英紀（九州大学 名誉教授）

指定講演②

9月6日（日）

A会場 8:45～9:45

『一瞬・一瞬がドラマ ―楽しかった糖尿病研究60年―』

座長：野見山 崇（順天堂大学医学部附属静岡病院 糖尿病・内分泌内科）

演者：河盛 隆造（順天堂大学 名誉教授）

会長企画①

9月5日（土）

A会場 11:30～12:20

『～中部地方会 100 回のあゆみ～』

座長：中村 二郎（医療法人TDE 糖尿病・内分泌内科クリニックTOSAKI名東 院長）

神谷 英紀（愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科）

演者：

「日本糖尿病学会と歩んだ60年—自分史—」

堀田 饒（独立行政法人労働者健康安全機構 中部ろうさい病院 名誉院長）

会長企画②

9月6日（日）

A会場 13:00～14:00

『糖尿病医療学と仏法の融合』

座長：森田 浩（医療法人社団 正心会 岡本石井病院）

澤田 健（医療法人社団 盛翔会 浜松北病院）

演者：

「糖尿病治療における人間の苦悩に対して」

斉藤 大法（宗教法人 要唱寺）

「糖尿病をもつ人中心のケア—糖尿病医療学」

石井 均（市立奈良病院 糖尿病・内分泌内科）

シンポジウム①

9月6日（日）

A会場 10:20～11:40

『静岡の食材と健康について～お茶・みかん～』

座長：井村 満男（医療法人社団正心会 岡本内科医院 院長）

有安 宏之（静岡県立総合病院 糖尿病・内分泌代謝センター）

演者：

「柑橘フラボノイドの膵β細胞保護効果と 糖尿病進展抑止への可能性」

金子 雪子（静岡県立大学 薬学部薬理学分野）

「緑茶と糖尿病予防」

山田 浩（静岡県立大学 薬学研究院 茶健康科学講座）

【概要】

静岡県を代表する食材である「お茶」と「みかん」は、地域の文化や産業を支えるだけでなく、生活習慣病予防の観点からも関心を集めている。緑茶に含まれるカテキンをはじめとするポリフェノールには、糖質・脂質代謝、酸化ストレス、慢性炎症などへの効果が期待されており、糖尿病、脂質異常症、動脈硬化性疾患の予防に寄与する可能性がある（JAMA, 2006; 296:1255）。一方、みかんなどの柑橘類は、ビタミンC、食物繊維、カロテノイドなどを含み、抗酸化作用、脂質代謝改善、血管機能保護との関連が期待されている（Nutrients, 2020; 12: 2907）。糖尿病診療においては、摂取量への配慮を必要とするものの、果物を食事全体の中で適切に取り入れることは、食事を楽しみつつ健康につなげる一助となり、食事の中で果物をどう位置づけるかが重要となる。本シンポジウムでは、静岡の身近な食材であるお茶とみかんの可能性について、糖尿病のみならず動脈硬化、脂質異常症、心血管疾患を含む内科領域の健康づくりにどのように生かすかを、多職種で考える機会としたい。

シンポジウム②

9月6日（日）

D会場 10:20～11:40

『つながる、ひろがるCDE』

座長：成瀬 桂子（愛知学院大学歯学部 内科学講座）

戸崎 貴博（医療法人TDE 糖尿病・内分泌内科クリニックTOSAKI）

演者：林 まゆ（春日井市民病院）

星 瑞江（みつばち薬局 三島駅前店）

田中 健太（岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

森 優太（松本クリニック/名古屋学院大学）

神尾 知恵（医療法人 喜和会 杉山歯科医院）

金森 恵佑（金沢医科大学病院）

坂野 陽子（富山大学医学部附属病院）

【概要】

糖尿病の治療支援において、全国資格のCDEJと、各県が認定するCDELの連携はとても大切です。「CDEとして地区で繋がろう」という考えのもと、私たちは垣根を超えた温かいネットワークを作りたいと考えました。

そこで本シンポジウムでは、中部地区の各県より様々な職種のCDEの方に集まっていたき、それぞれの現場で感じているやりがいや、地域ならではの課題、工夫していることなどを、ざっくばらんに、かつ熱く語り合っていただく予定です。今後、県を超えてCDEと繋がりやりたいこと、CDEとして繋がりやりたいこともご発言いただきます。

「職種」や「資格の枠」を飛び越えてCDEが地域で一つに繋がることで、糖尿病をもつ人を支える輪はさらに大きく、優しく広がっていきます。中部地区の糖尿病医療をみんなで盛り上げる第一歩として、明日からの活力になるような、活気あふれるディスカッションを目指します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

シンポジウム③

9月6日（日）

A会場 14:10～15:30

『浜松市における糖尿病対策 ～ 地域連携の実践と未来 ～』

座長：菊池 範行（きくち内科クリニック）

松下 明生（浜松医科大学 第二内科 内分泌代謝科）

演者：

「浜松市における糖尿病対策について」

釣谷 大輔（浜松医科大学 第二内科 内分泌代謝科）

「母と子の糖尿病発症予防をめざして ～浜松市の妊娠糖尿病支援事業を通して」

源馬理恵子（医療法人社団 盛翔会 浜松北病院 内科（代謝内分泌））

「浜松市糖尿病性腎症重症化予防プログラムの取り組み」

安田日出夫（浜松医科大学 内科学第一講座）

「浜松市歯科医師会の糖尿病医科歯科連携の取り組み」

齋田 勇介（浜松市歯科医師会 成人歯科専門部会 理事）

【概要】

糖尿病重症化予防には、地域行政と連携した啓発活動も重要となります。浜松市で行っている3つの取り組みをご紹介します。

1. 妊娠糖尿病(GDM)支援事業

浜松市では、全妊婦にGDM紹介用パンフレットを配布し、GDMと診断された方へGDM手帳を渡して経過観察を勧奨しています。出産後1-3ヵ月でブドウ糖負荷試験を行い、正常型でも5年後まで年1回の血糖検査を推奨する内容です。GDM患者のフォローアップ体制を発表していただきます。

2. 腎症重症化予防プログラム

かかりつけ医と腎臓専門医が連携して人工透析を予防する取り組みです。浜松市国民健康保険加入者の特定健診結果からハイリスク者へ受診勧奨を通知し、かかりつけ医から腎臓専門医へ紹介するシステムです。さらにレセプトデータより中断者を抽出し、受診勧奨を行っています。プログラムの現状を報告していただきます。

3. 歯科医科連携

歯周病対策には歯科医科連携がかかせません。浜松市歯科医師会と「糖尿病のよりよい連携医療をめざす会」はワーキンググループを立ち上げ情報共有のための共通フォーマットを作成中です。糖尿病患者さんの歯のケアについてご講演いただきます。

シンポジウム④

9月6日（日）

D会場 14:10～15:30

『若手のための論文作成のコツ・留学体験記』

座長：有馬 寛（名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学）

野見山 崇（順天堂大学医学部附属静岡病院 糖尿病・内分泌内科）

演者：

「それを書いてみよう」

沖 隆（医療法人社団盛翔会浜松北病院 学術顧問・糖尿病内分泌センター長）

「市中病院で臨床論文へ挑戦する

～呼吸器内科の枠を超えて糖尿病臨床研究へ踏み出す」

松浦 駿（藤枝市立総合病院 呼吸器内科）

「研究へのモチベーションの保ち方—日米の臨床現場から考える—」

高山 尚輝（University of Arizona College of Medicine – Phoenix,
Department of Internal Medicine, Resident）

～糖尿病医療者・研究者のダイバーシティをpromoteする委員会企画～

達人による糖尿病研究の 始めかた、進めかた、誘いかた

【シンポジウムの趣旨】

中部地区の研究活性化を目指し、若手医師・研究者・学生には
研究の魅力と具体的な始め方を伝え、シニアな指導者には
若手を研究に誘う方法を共有するディスカッション重視のシンポジウム

座長

笹岡 利安 先生 富山大学/富山赤十字病院

岡田 由紀子 先生 春日井市民病院

基調講演(発表20分/討議3分)

浅原 哲子 先生

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
研究所 ジェロサイエンス研究センター

セレンディピティから生まれた肥満症研究
糖尿病・肥満症診療での疑問から未来の治療を拓く

新たな肥満治療薬や外科的手術による肥満治療の最前線を解説。
減量を成功に導く先端研究や医療多職種連携へのロードマップを紹介。



若手肥満・糖尿病診療の取り組み 各2分

富山大学
稲川 慎哉 先生

福井大学
上田 航平 先生

岐阜大学
加藤 文博 先生

名古屋市立大学
八木 崇志 先生

シンポジウム1(発表15分/討議3分)

恒枝 宏史 先生

富山大学 学術研究部(薬学・和漢系) 臨床薬品作用学

五感を活用した糖尿病治療の新展開
歴史から学ぶプロローグとエピローグ

嗅覚や聴覚による中枢性糖・脂質代謝調節の先端知見を紹介。
身近な生活や食事スタイルの治療応用と研究を継続するための
「着眼点のツボ」を伝授。



基礎・臨床研究へのアプローチ 各2分

金沢大学
山本 怜奈 先生

愛知医科大学
三浦絵美梨 先生

名古屋大学
武田 理 先生

シンポジウム2(発表15分/討議3分)

福元 聡史 先生

トヨタ記念病院 栄養科

研究って意外と身近！
管理栄養士が伝える糖尿病研究の魅力

市中病院の管理栄養士がなぜ研究に興味を持ったのか？
妊娠糖尿病研究を例に挙げながら、研究が日々の実臨床にどう直結し
役立つかを共有。



メディカルスタッフとの多職種連携 各2分

浜松医科大学
橋本 卓也 先生

藤田医科大学
轟木 秀親 先生

三重大大学
岡野 優子 先生

金沢医科大学
生駒 麻貴 先生

第100回日本糖尿病学会中部地方会

会 長：森田 浩（医療法人社団 正心会 岡本石井病院 糖尿病・内分泌・代謝内科）

事務局：釣谷 大輔（浜松医科大学 第二内科 内分泌代謝科）

研修医・医学生・看護学生の皆さんへ

初めての参加
大歓迎！

糖尿病学会参加のご案内

参加無料

糖尿病学会中部地方会が下記のとおり開催されます。
糖尿病臨床・研究の最前線に触れられ、将来の進路を考えるうえでも
大変有意義な機会になります！

第100回記念

糖尿病学会中部地方会

9月5日(土)・6日(日)

会 場 | アクトシティ浜松 参加費 | 学生無料

- 専門医の講演や症例発表を気軽に見学できます
- 将来の進路やキャリアを考えるヒントに
- ランチョン・アフタヌーンセミナーでは軽食を楽しみながら聴講できます

気になったら、まずは覗いてみよう！



会 長: 森田 浩 (医療法人社団 正心会 岡本石井病院 糖尿病・内分泌・代謝内科)
事務局: 釣谷 大輔 (浜松医科大学 第二内科 内分泌代謝科)



<https://jdsc100.jp/index.html>